

2010年12月21日 (火) 17:30-18:30

場所：大阪大学銀杏会館 会議室B (吹田キャンパス)

主催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター

共催：大阪大学医学系研究科「医科学修士健康医療問題解決能力の涵養」教育プログラム

## Why Do Behavior Interventions Fail?

講師：Ichiro Kawachi (ハーバード大学公衆衛生大学院 教授)

12/21

参加方法：要事前予約  
jim@glocol.osaka-u.ac.jpあてに  
「(1)名前 (2)所属 (3)希望するセミナー名」をお送りください。  
当日参加も可能です。

言語：  
日本語、英語 (通訳なし)

GLOCOLセミナー

問い合わせ先：  
大阪大学  
グローバルコラボレーションセンター  
jim@glocol.osaka-u.ac.jp  
TEL：06-6879-4442  
FAX：06-6879-4444

12/22

## Healthy Aging in Japan

講師：Ichiro Kawachi (ハーバード大学公衆衛生大学院 教授)

## 高齢者の健康と介護の担い手

講師：花岡智恵 (大阪大学社会経済研究所 特任助教)

主催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター

共催：大阪大学医学系研究科「医科学修士健康医療問題解決能力の涵養」教育プログラム、  
大阪大学グローバルCOE「人間行動と社会経済のダイナミクス」

場所：大阪大学コンベンションセンター 1F研修室 (吹田キャンパス)

2010年12月22日 (水) 17:30-19:00

GLOCOLセミナー

2010年12月21日 (火) 17:30-18:30

場所：大阪大学銀杏会館 会議室B (吹田キャンパス)

## Why Do Behavior Interventions Fail?

講師：Ichiro Kawachi (ハーバード大学公衆衛生大学院 教授)

若年死亡の主な原因は好ましくない個人的選択である(喫煙、不適切なダイエット、飲酒運転、危険な性行為など)。しかし保健指導を行ってもその多くは人々の習慣を変えることができていない。ここではそれら指導計画の根底にある健康に影響を与える習慣の基本理論における問題を検討する(保健信念モデル、計画的行動理論など)。行動経済学および神経科学の原理を用い、行動的介入を改善するための新しい方向性を提案したい。

言語：英語 (通訳なし)

GLOCOLセミナー

2010年12月22日 (水) 17:30-19:00

場所：大阪大学コンベンションセンター 1F研修室 (吹田キャンパス)

## Healthy Aging in Japan

講師：Ichiro Kawachi (ハーバード大学公衆衛生大学院 教授)

現在、日本人の寿命は世界第1位である。しかし、高齢化や出生率の低下、長期介護費用の増加など大きな課題に直面している。ここでは主に、日本社会が豊かな老いを迎えるために欠かせない要素について、社会学の観点から述べる。「健全な介護者との関係から何を学んだか?」「豊かな老いを促進するために、コミュニティはいかに『ソーシャル・キャピタル』を結集できるか?」といった問いについて考えてみたい。

言語：英語 (通訳なし)

## 高齢者の健康と介護の担い手

講師：花岡智恵 (大阪大学社会経済研究所 特任助教)

日本社会が豊かな老いを迎えるために欠かせない要素として、高齢者介護の担い手に焦点をあてる。主な担い手である家族介護者、そして、公的介護サービスに従事する介護労働者を取り上げる。近年の経済学分野を中心とした実証研究の紹介を通じて、今後、高齢者介護の担い手の量と質を確保するために、どのような政策が必要とされるかを考えたい。

言語：日本語

参加方法：要事前予約  
jim@glocol.osaka-u.ac.jp  
あてに「(1)名前 (2)所属 (3)  
希望するセミナー名」をお送り  
ください。当日参加も可能  
です。



問い合わせ先：  
大阪大学グローバルコラボレーションセンター  
jim@glocol.osaka-u.ac.jp  
TEL：06-6879-4442 FAX：06-6879-4444

